

第1回 令和4年9月台風14号 大淀川上流内水対策検討会 議事概要

日時：令和4年11月28日(月) 9:30～11:00

場所：宮崎河川国道事務所 別館3階会議室

I. 議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員紹介
4. 規約確認
5. 議長選出
6. 議事
 - (1) 令和4年9月台風14号の概要について
 - (2) 被害状況について
 - (3) 施設操作の状況について
 - (4) 各機関による対策について
 - (5) 意見交換
7. その他(今後のスケジュール等)
8. 閉会

II. 主な意見等

【※青字は、事務局からの回答等】

議事(1) 令和4年9月台風14号の概要について

- ・「16 ページ:降水量(24 時間)」、「17 ページ:最大 24 時間雨量」の違いが分かり辛いので、「16 ページ:日降水量」と表現した方が良いのでは？
- ・2 ページの説明文にある「三股雨量観測所」についても、3 ページの他観測所と同様、位置や短時間雨量を整理しておいた方が良いのでは？

議事(2) 被害状況について

- ・特に意見なし

議事(3)施設操作の状況について

- ・川東第2樋管を全閉した時間について、「10:40(8ページ)」と「10:55(3ページ)」とあるが、これらの違いは？

→8ページの記載は、逆流を確認した時間であり、操作時間ではない。(誤解を受けるといけないので、表現の統一等、修正したい。)

- ・排水量の単位(8ページの m³/min、9ページの m³/秒)も、統一しておいた方が良いのでは？

→m³/秒に統一する。

- ・水防団がいいため消防団で対応している実情も良く聞くと、消防団も高齢化が進み各地で水防活動が厳しくなっている話も聞く。都城市では実際、どのような体制(何人でどのくらいの数の樋管を操作しているのか？特に川東地区での体制はどうだったか。また消防団が待機していたとの説明があったが、具体の待機場所等も共有して欲しい。(暗い中、苦勞されて移動したのでは？) 【以上、次回にでも、教えて欲しい。】

- ・既往最高水位(5ページ)の記載がありますが、既往最大は過去の最高という意味で使うため、今回の水位がこれまでで一番高かったという表現にした方が良い。表現は事務局に任せるが、矛盾の無いようにして頂きたい。

議事(4)各機関によるこれまでの対策について

- ・川東地区の上流において、大岩田遊水地が計画されているが、今回の出水に対して遊水地ができていた場合の効果について次回までに示して頂きたい。

→遊水地や予定している河道掘削等も含めて、提示したい。

- ・市民による対応、舗装せずに庭の浸透性を高めるなど細かな取組みも必要と考える。
- ・流域治水の考え方は、行政だけではなく住民の方も参加するという考え方なので、指摘通りであり、そのような取組みは重要である。

議事(5)意見交換

- ・都城市もハザードマップを配布しているが、ハザードマップは配布するだけでなくハザードマップの見方について説明することが大事。ハザードマップで着色されていない箇所に住んでいる人は、自分は大丈夫だと思うかもしれないが浸水する可能性もある。自分の身は自分で守るということについて、十分な啓発活動を進めることが大事である。
- ・宮崎市においては、平成 17 年水害を契機とした「大淀川水系水害に強い地域づくり委員会」の提言に基づき、内水が懸念される市内の色々な箇所での「浸水情報看板の設置」や地域住民による「内水監視員制度による監視体制の確保(量水標の読み値を毎時報告)」等、様々な取組みを実施している。流域治水は、行政のみでなく、企業・住民等、総出で取り組むべき。
例えば宮崎市に、条例に基づく災害危険区域の指定状況等を含め、取組み事例を説明して頂く事も有効なのでは。
- ・事務局から雨の降り方の説明があったが、平成 17 年台風 14 号のレーダー雨量計のデータとの比較について、気象台から説明してもらおうとよい。

その他(今後のスケジュール等)

- ・第 2 回検討会は 1/24 を予定、第 3 回検討会は 3/1 を予定。状況によっては、変更となる可能性もある。

以上